

日本におけるキャッシュレス決済に関する次の文中の下線部分ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

キャッシュレス決済手段には、クレジットカード、交通系電子マネーなどの電子マネー、スマートフォン決済など、様々な手段がある。このうち、クレジットカードは、最近ではICチップを内蔵したものが多くなっている。店舗での取引においてICチップ内蔵のクレジットカードを利用する際には、ア暗証番号の入力と伝票へのサインの両方を必ず求められる。また、スマートフォン決済にはバーコードや二次元コードを活用するコード決済があり、コード決済では、イ店舗側が提示したコードを消費者が読み取るか、消費者が提示したコードを店舗側が読み取る。

2019年10月、消費税率引上げと同時に、政府による期間限定のキャッシュレス・ポイント還元事業（キャッシュレス・消費者還元事業）が始まった。この還元事業の対象となったキャッシュレス決済手段は、ウクレジットカード、電子マネー、スマートフォン決済などである。また、還元事業の対象となった店舗には、エ大手スーパーマーケット、百貨店は含まれたが、中小・小規模事業者の店舗は含まれなかった。

1. ア, ウ
2. ア, エ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, エ

<p>警察官採用試験 I類及び武道・体育指導I類 教養試験 出題分野 社会（経済） 正答番号 3</p>
--